

各 位



2014年11月17日

会 社 名 株式会社メガチップス
本 社 大阪市淀川区宮原一丁目1-1
代 表 者 名 代表取締役社長 高田 明
(コード番号 6875 東証第一部)

IMECとのIoT向けの超低消費電力無線通信の共同開発に関するお知らせ

株式会社メガチップス（以下、当社）は、ナノエレクトロニクス研究センターであるIMEC（Interuniversity Microelectronics Centre）と、IoTアプリケーション向け超低消費電力無線通信技術の研究開発の戦略的パートナーシップを締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

当社は、中長期に渡る継続的な事業拡大と企業価値向上を目指し、今後大きな成長が期待されるモバイル、ウェアラブルを含むIoT分野に向けた事業展開のため、積極的に同分野向けASSP製品の充実を図っております。

今回は、その一環として、世界最先端のRF技術を有するIMECと超低消費電力無線通信技術（ultra-low power (ULP) short radio）の研究開発の戦略的パートナーシップを締結いたしました。

<開発の背景>

自動車、人体、家庭のあらゆるものに小型のセンサーデバイスが組み込まれ、インターネットに接続されるIoTが今後急速に普及すると考えられています。

2020年までに、一人当たり数百に及ぶセンサーを使用、およそ500億個のセンサーデバイスが全世界で用いられると予想されています。

また、産業用途においては、スマートファクトリー、スマートグリッド、スマートビルを実現するため、各種情報を伝達するためにメンテナンスフリーな装置の実現が望まれています。

これらIoT社会の実現において、超低消費電力の無線伝達技術が切望されています。

<開発の主な特長>

当社が共同開発する「ultra-low power multi-standard sub-GHz radio solution」は、既存のSubGHz無線LSIよりも、送信時で1/2以下、受信時で1/10まで消費電力を低減し、かつ、優れた受信感度の実現により、大規模産業用地やビルディングなど見通しの悪い状況でも、従来以上の伝達距離と信頼性の高い通信を可能にします。

当社は、この研究開発を重要なプロジェクトのひとつに位置づけて、当社のセンサーHUB技術、MEMS技術及びIMECの高度なRF技術を結合することによって、IoT市場をリードするソリューションの提供を目指します。

引き続き、当社は、新しいアプリケーションを創造すると共に、システムソリューションを提供し続けるグローバル企業として、新たな戦略で成長と高収益を両立させ、継続的な企業価値の向上を目指してまいります。

■ IMECについて

IMECはナノエレクトロニクスと太陽光発電分野において、世界をリードする研究を行っています。科学的な知見を活用し、ICT、ヘルスケア及びエネルギー業界でのグローバルなパートナーシップによる革新力によって、産業関連の技術ソリューションを提供し、また、独自のハイテク環境の中、国際感覚を持った優秀な人材によって、持続可能な社会での、より良い暮らしに向けたビルディング・ブロックを提供しています。IMECはベルギーのルーベンに本社を置き、オランダ、台湾、アメリカ、インド、日本にも拠点をもっています。従業員数は、2,080名を超え、そのうち約670名は産業界からの常駐客員研究員で構成されています。

詳細は、www.imec.beをご覧ください。タブレットやスマートフォンからは月刊のIMECマガジンwww.imec.be/imecmagazineでIMEC最新情報をご覧ください。

■ 用語集

- ・ IoT (Internet of Things) :
一意に識別可能な「もの」がインターネット/クラウドに接続され、情報交換することにより、相互に制御する仕組みを指します。
- ・ MEMS (Micro-Electro-Mechanical Systems) :
微細加工技術を用いて製作された微小な電気機械システム。当社が取得したタイミングデバイスの他、センサー、モーター、ディスプレイ等に応用されています。

【製品に関する問い合わせ】

株式会社メガチップス
営業統括部 第2営業部 営業4課 田中(東京)
TEL 03-3512-5083
営業統括部 第2営業部 営業4課 松浦(大阪)
TEL 06-6399-2885

【報道関係、IR関係】

株式会社メガチップス
管理統括部 経営管理部 広報課
TEL 06-6399-2884 (代表)

以 上